

LPG販売店経営読本

LIQUEFIED PETROLEUM GAS

# 月刊 LPGガス

2013

8

監修

LPG経営研究会

編集発行

産業報道出版

<http://www.lpg-sanpo.co.jp>

総合保安対策特集  
～保安と販売は車の両輪～

アストモス

明日への SHINKA活動

くらしとエネルギーの  
総合サービス事業者を目指して

2012～2014

3つのSHINKA宣言

- あたたかい  
くらしの  
進化
- エネルギー  
利用の  
新化
- お客さま  
総合サポートの  
真価

アストモスエネルギー株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー24階 TEL.03-5221-9700(代) <http://www.astomos.com>

# 配管図面、まだ「手描き」?

## 図面作成・管理をシステム化

LPGCad R1のメイン画面



現在、LPガス事業者のほとんどが販売・顧客管理などのシステムを導入している。集中監視システムやGPSによる保安体制など、高度なシステムを導入するLPガス事業者も増えた。

そんな中、ただ一つ取り残された部分が配管図面だ。いまだに「手描き」であり、保存は紙。図面作成をシステム化しデータとして管理するには図面作成用CADシステムが必要となるが、高価で専門的すぎるという難点があった。

日本システムデザイン（大阪市中央区、藤澤信二社長）が開発した「LPGCad R1」は、設



誰でも簡単に操作できる

備管理のための統合CADパッケージソフト。簡単に正確な図面が作成できる上、高度な保安管理機能もある。簡単に低価格ということから3年前の本格販売以来、導入するLPガス事業者が全国的に増えている。

二次元CADの世界標準であるAutoCADをベースとしたシステムを手掛けてきた同社には、LPガス業界向け専用CADがでないかとの声が多く寄せら

れていた。高価・専門的なCADシステムにも低価格の商用CADが登場したことを受け、同社は長年のノウハウを生かし、安価で初心者にも使いやすい「LPGCad R1」を開発した。

LPガス事業者用に特化した低価格CADシステムであり、特にアイソメ図を描く機能は独自のノウハウで、シンボルや寸法線などを完全な形で等角投影図で表現する。

### 配管図面作成での諸問題を解決

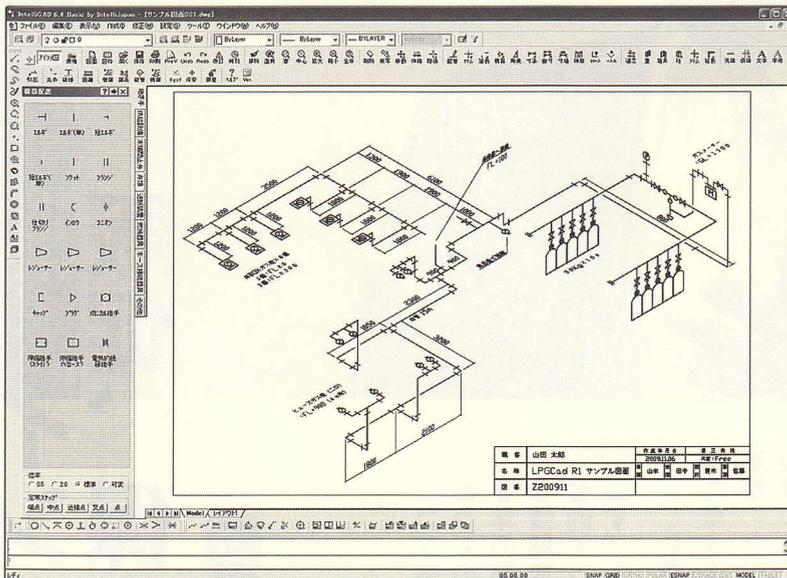
配管図面作成には問題点が多い。配管図（アイソメ図、平面図）では製図に関する知識が必要のため、作成できる人材に限られる。

手描きでは時間・労力がかかるだけでなく、図面としての精度・見栄えも劣る。描いた本人しかわからないようでは困るし、間違いや配管図中の機器が抜けていたりす

## 簡単・低価格な

# LPガス設備CADシステム

配管アイソメ図作成画面（アイソメ図ははめ込み）



れば問題。保存・管理面では大量の紙を抱え必要なときに取り出すのに苦労する。図面上に機器類の保安情報（設置日、使用期限、仕様など）の表現が困難で、設備改修による図面変更時に旧図面の流用・活用ができない。

配管図面は現場の状況を正確に把握できるため保安管理面で重要となるが、この業界で最も遅れている部分かもしれない。問題を一

挙に解決するのが「LPGCad R1」。主な機能を紹介すると――

＜LPガス設備工事の配管図面作成機能＞アイソメ図、平面図、建物図を作成。

＜図面管理機能＞①作成済み図面を地域・顧客・工事別などで整理・保管②手描き図面のPDF、顧客・工事関連のデータ文書や写真を同時管理③住所・顧客名などの

のキーワードで、図面を探せる探索機能付き。

＜保安管理機能＞図面上の配管・機器に、仕様・設置状況・使用期限などの保安管理情報が設定できる。マウスで指示すればこれら情報が見られる。保安管理情報はエクセルにレポート形式で出力できる。

同システムはCADの専門知識がなくても2、3日の練習により手描き感覚の操作性で使いこなせるようになる（容器やメーターなどの機

器シンボルを標準装備）。CADの標準フォーマット（DWG）を採用しているため、他社の図面も利用できる。

拡張性の面では、社内の基幹システムとの連携により情報の有効利用ができ、また、配管情報（管種、口径、長さ）や機器情報を集計し積算することで工事見積書の作成も可能。定価は19万円（税抜き）。

なお、同システムはユーザーの声を反映させ、定期的な無償バージョンアップを行なっている。

### 試供版提供、無料体験セミナーも

日本システムデザインのホームページには「LPGCad R1」の操作方法を説明する音声付きオートデモがある。また「試供版」も提供しており、無料体験セミナーを同社内セミナールームで適宜に開催している。実際に操作を体験すれば、簡単な図面が描けるようになる。

【問い合わせ先】日本システムデザイン(株)CAD開発部Ⅱ大阪市中区東高麗橋1番12号(北浜センタービル)、電話06-69941-1341

<http://www.nsdn.co.jp>